

早稲田大学

Guitar Society

定期演奏会

第53回



2020
12月19日(土)
14:00-
17:00
東京Concerts Lab

プログラム

米津玄師メドレー	作曲：米津玄師
亜麻色の髪の乙女	作曲：Claude Debussy
二人でお茶を	作曲：Vincent Youmans
Tango En Skai	作曲：Roland Dyens
月影～moonlight～	作曲：田中佳憲
いつも何度でも	作曲：木村弓
Aquarelle: II. Valseana	作曲：Sergio Assad
Fantasia No.7	作曲：John Dowland

幹事長挨拶

本日はこの演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。このご時世にあっても直接会場にお越し下さった皆様と、ライブ配信をご覧になっている皆様に感謝を申し上げます。皆様のお力添えもありまして、場所や人などさまざまな制限を受ける中で、早稲田祭に引き続き、なんとか今年も冬の定期演奏会を開催することができました。例年と比べて規模も小さく、慣れない運営で円滑を欠くことがあるかもしれませんが、部員一同精一杯演奏会の成功に努めていきます。部員それぞれの心を込めた演奏をどうぞお楽しみください。

早稲田大学ギターソサエティー第53代幹事長 赤石夏輝

曲紹介

米津玄師メドレー（作曲：米津玄師 編曲：赤石夏輝）

赤石夏輝（基幹理工学部 2 年） 本間萌衣（桜美林大学 3 年）

今春開催予定であった「ジョイントコンサート 2020」で演奏されるはずだったメドレー曲です。せっかく面白いように作ったんだし、このまま消えるのはもったいない、という動きによりこの冬演でデュオ編成にして復活させました。そして本当に、もったいないと言って残したいほど、メドレーとしていろいろ趣向を凝らしています。次の曲へのつながりのトリックだったり、フレーズの再利用・混合だったり、和声を変えて景色を変えてみたり、この曲を編曲している当時（1月）はとても楽しませていただきました。それでも編曲の至らないところ、演奏上どうしても再現しきれないところがあるかもしれませんが、ぜひ世界に他のないメドレーを皆さんに楽しんでいただけたらと思います！

最後に、このメドレーが正しく披露される場の実現に携わってくれた皆さん、そして本間さんに感謝いたします。

亜麻色の髪のエ乙女（作曲：Claude Debussy 編曲：田嶋道生）

赤石夏輝（基幹理工学部 2 年）

『月の光』と同時期に書かれたドビュッシーの初期のピアノ作品です。自由な速さと情緒的なメロディ、短い中にも一貫性かつ変化のある楽曲です。その枠から一つ外れた作風を持つといわれるドビュッシーに興味を湧いて今回選曲しました。余談ですが、ヴィレッジ・シンガーズの同タイトル曲もまた、ドラゴンクエストシリーズをはじめ数多くの名曲を生んだすぎやまこういち氏による作編曲です（もしかしたらタイトルだけみてこっちを期待した人が多かったかも…）。さておき今回の曲、ドビュッシーの意匠を感じながら、自由にドラマチックに演奏したいと思います。

二人でお茶を（作曲：Vincent Youmans 編曲：佐藤正美）

赤石夏輝（基幹理工学部 2 年）

『二人でお茶を』は 20 世紀初頭のミュージカル『ノー・ノー・ナネット』から、1950 年にその曲のタイトルの付けられたミュージカル『二人でお茶を』の挿入曲です。日本でも紅茶の CM だったり食べ物の CM だったりでどこかで聞いたことのあるメロディだと思います。自分も弾いたときなんか紅茶って感じがするなと思い、和むなあと思って選びました。そしてこの曲に惹かれる理由はそれだけではありません。それはボサノヴァ風編曲、コード進行、転調でした。自分はもともと渋谷系（1990 年代の日本の J-POP ジャンル。オザケン率いるフリッパーズ・ギター、ピチカート・ファイヴなどが代表的アーティスト。）の音楽が好きで、この曲を作り上げている要素が渋谷系に通じているものがあるな、というようにうっすらと感じたため演ってみたいなと思いました。特に間に入る転調でふわふわと優雅に浮かぶ感じになる様子を上手く表現できたらと思います。

最後に今回のソロ選曲 2 曲を合わせてみて、亜麻色の髪の乙女に「今度と一緒に路地裏のお気に入りのカフェに行こうね」と言われる情景を想像してみます。ゆるふわしますね（限界）。

Tango En Skai（作曲：Roland Dyens）

上村春佳（社会科学部 2 年）

「タンゴ・アン・スカイ」とは日本語で「まがいもののタンゴ」を意味するそうです。正統派のタンゴよりも派手で、踊ると足が絡まってしまいそうな感じがします。私は昨年ギタソの先輩が練習室でいつも演奏されていたことからこの曲を知りました。何度も聴くうちにこの曲が頭から離れなくなり、自分でもいつか弾いてみたいという気持ちが高まって今回の演奏会用に練習を始めました。ノリノリな曲なので勢いも大事ですが、力に任せて細かい部分が疎かにならないよう演奏できればと思います。

月影～moonlight～（作曲：田中佳憲 編曲：田中佳憲）

本間萌衣（桜美林大学3年）

田中佳憲さんのオリジナル曲で、以前先輩が定期演奏会で演奏されていた曲です。練習時から耳にしていたのですが、アップテンポでありながらも、緩やかに音が流れるような曲調に魅了され、とにかくカッコイイ！！いつか弾きたい！！と1年生の頃から密かに思っていました。今回2年越しにそれが叶い、私自身弾くのがとても楽しみです。

と、何気なく曲紹介を今年もまた書いていますが、ずっと1女でいたいと言っていた私がいつの間にか3女になり、これが最後の曲紹介になるのかと思うと、なんでもいいのでたくさん書いておきたくになります（笑）あ～早稲田遠かったな～でも仲良くしてくださった先輩方、今回私からの頼みで編曲&一緒に弾いてくれた赤石くん、後輩のみんなのおかげもあって楽しめました。ギタソありがとう～～～とりあえずこちら辺で上手く締めましょう（笑）

最後に、新型コロナウイルスの影響がありながらも、定期演奏会で無事演奏できることに感謝すると共に、皆さんにこの曲の素敵な一面が伝わるよう心を込めて演奏します。

いつも何度でも（作曲：木村弓 編曲：末原康志）

渋谷彩乃（日本女子大学2年）

この曲は、スタジオジブリの映画「千と千尋の神隠し」の主題歌です。そうは言っても、私は千と千尋の神隠しをちゃんと見たことはないのですが。そういう人でも人生で1度は聞いたことがあるであろう、有名な曲です。これを機に映画の方も見たいなと思いました。チューニングがいつもと違うので少し戸惑いましたが、頑張って弾きます。

Aquarelle: II. Valseana (作曲：Sergio Assad)

紅林孔太 (社会科学部 1 年)

「Aquarelle」とはフランス語で「水彩画」という意味です。「Aquarelle」はその水彩画のように淡く繊細なメロディーが特徴的です。ゆったりと流れるような曲調の中にも、変化や迫力があるので、自分なりに表現したいと思います。Aquarelle(水彩画)を思い浮かべながらお聴きください。

Fantasia No.7 (作曲：John Dowland)

郭鶴寧 (文学研究科 1 年)

まずはギタソの演奏会でリュートを弾くという不粋な真似を、お許し下さい。

リュートとギターの関係性についてはもはや紹介不要でしょうが、J.Dowland は英国のエリザベス朝後期に活動していたリュート奏者と作曲家でございます。その功績は一世を風靡したリュート歌曲に集中され、例えば有名な『Come again』や『Flow, my tears』がありますが、何せ演奏会で弾き語りするのは余りにも激しいもので、独奏曲を選びました。

Fantasia no.7 は独奏曲の中でも屈指に有名なものです。Fantasia(幻想曲)は自由に作曲家の想像任せで、色んな形がありますが、ダウランドの場合はその素晴らしい対位法は後のバロック音楽家に比べても遜色ないと言って良いでしょう。7 番は軽やかで陽気ながらも対位法特有の荘厳さが備えており、その移曲はギタリストによって多数演奏されています。7 年前に小暮浩史先輩の演奏を聞いて出会ったから、私にとって特別な意味のある曲でもあります。是非お聞きください。

他己紹介

社会科学部 1年 紅林孔太



高校生の頃からクラシックギターの独奏を習っているという、期待の一年生。しかも社学。(なぜか各学年に一人ずついる)静岡出身で10月から東京で一人暮らしを始めたらしいです。この前まで神田川のことをドブか何かだと思っていたみたいですが、練習のときは、いつも丁寧で素晴らしい音色を奏でています。また演奏方法などがわからないときに彼に質問するとわかりやすく答えてくれます。本当に頼もしいです。プレッシャーを与えてしまって申し訳ないですが、今回の演奏会でも素敵な演奏をしてくれることを楽しみにしています。(上村)

基幹理工学部 2年 赤石夏輝 (幹事長)



いつものんびりした喋り方で、最初は穏やかな人なんだろなってイメージが強かったです。しかし、実はめちゃくちゃ芯が強い人だと思います！練習にはかなりの頻度で参加していたし、演奏の時は堂々とそのテクニックを見せてくれます。ギタソ愛も人一倍強く、部員を率いて前例のないオンラインでの演奏会も成功させてくれました。また24時間勉強会の時も、朝マックを食べながら先輩を起こし最後まで闘ってくれたことを覚えています。僕があまりサークルに行けないため、変なタイミングでの引き継ぎになってしまっでごめんなさい。伝統も大切かもしれませんが、赤石君には部長の権力をガンガン使ってギタソをより住み心地の良い城にしてもらって良いと個人的には思っています！(丹羽)

社会科学部 2年 上村春佳 (内渉)



上村さんは、とても優しく接して下さる先輩です。サークルに初めて行った時はとても歓迎してくれて、大学のことやサークル活動について色々教えてくださいました。上村さんは、ギターを弾く時いつも真剣で楽しそうです。また、普段の優しく穏やかな先輩の姿からは想像もつかないような指さばきでトレモロを演奏していることを見かけます。圧巻です。これからは頼りにさせていただきます。よろしくお願いします！（紅林）

日本女子大学 2年 渋谷彩乃



個人的には印象的なショートカットも相俟ってかっこいいという印象です。面白い事が好きで笑顔がとっても似合ってます。好きなものは、サンリオや女性アイドルやV系などどれも可愛い。(ちなみに私は、今年のサンリオキャラクター大賞でシナモロール、マイメロディ、クロミを応援していました。) 最近は、"自分ツッコミくま"などで有名な、イラストレーター・ナガノさんのキャラにはまっているそうです。なんともゆる〜い表情で癒されますね。(森内)

国際教養学部 2年 村瀬里菜 (会計)



りなちゃん、最近直接会えなさすぎて寂しい〜何してるの〜とLINEをしてみた。最近ハマっているのがホラー系コンテンツのYouTubeらしい。え、ポーカーフェイスのりなちゃんがホラー動画とか見て驚く顔が見て見たい...驚いたりしないのかな....あとトイプードルみたいな小さい犬が欲しいらしい。ホラー系好きな人のギャップ萌え(笑) 可愛い犬いつか飼えるといいね〜思いつくことこれくらいですといいながら新しいりなちゃんの一面が知れた！とりあえず早く直接会いたい！！！！(本間)

基幹理工学部 2年 森内祐治



森内君は、とてもお洒落です。ギタソのオシャレ番長です。Zoom で超久しぶりに顔を合わせたときに髪が長くなってびっくりしました。他己紹介を書くための情報を得ようとして森内君のインスタをフォローしたら、私よりよっぽどインスタグラマーしていました。歌手のオーイシマサヨシさんが好きだと聞き及んでおりますが、オーイシさんは私も好きです。(尤も私はにわかです。)

つい最近の話だと、早稲田祭関係の連絡や準備などをやってくれました。初のオンライン文化祭ということで、なにやら色々面倒なこともあったのではと思います。ありがとうございました。

こう書き出してみると未だに知らないことばかりですね。なんともミステリアスな人です。(渋谷)

社会科学部 3年 丹羽泰雅



例によってコロナ禍もあり、今年度の活動中は直接会うことができませんでした。そして1月2月でわずかに会えたときに一緒だったのがあの24時間耐久勉強企画だったわけです…。(24時間耐久勉強企画とは！その名の通り24時間ぶっ続けで勉強するという学畜の学畜による学畜のための企画である！) また何か企画できたら一緒にやりたいなあと思っています。

さて他に覚えているエピソードはというと、たしか「仁王はくそゲーだ！早く帰ってやらなきゃ…！」と言っていたのをなぜかちゃんと覚えています。「仁王」はコーエーテクモゲームスの出したアクションゲームで、何度も何度もトライしないとクリアすることの許されないいわゆる”死にゲー”です。そんなゲームの虜になっているということはやはり相当ストイックあるいはドMの部類に入るのでは…と思いました。ちなみに自分は死にゲーと名高い「DARK SOULS」シリーズ(フロムソフトウェアより発売)のリマスター版をプレイしようとしたのですがチュートリアルで心が折れました(今も積みゲーしてます許してください…)。多分丹羽さんはフ

ロムの犬になる素質があります。

あとはあれですね、ネットミームに強いですね。でもこれ以上はこの紙面に載せられるのか載せられないのかということになるのでここでは…。とにかく、今回は演奏側には参加しませんが、サークル活動内外ではとても楽しいお方です。某配信者のように、24時間配信してしまってもかまわんのですよ…!! (赤石)

桜美林大学 3年 本間萌衣



音楽が大好きで美人な本間さん！数少ない3年生の先輩でギタソにとって貴重な存在です笑。本当にこのサークルが好きで先輩後輩関係なく仲良くしてくれて素敵な人だなと密かに思ってます笑。合宿とかでもギターの実習に熱中しているところを見るとすごいと思います。あまり練習しない自分とは違い笑笑。後、いつも思うんですけどすごい女子力高いですね。見習います。練習の度合いに関しても見習います。とにかくいろいろ見習います。(村瀬)

文学研究科 1年 郭鶴寧



大学卒業から2年、お仕事を続けながら今年大学院に入られました。お名前は音読みで「かく かくねい」さんというそうです。専攻は東洋哲学、そしてなんと犬2匹とニワトリ4羽と暮らしているらしいです。一番鶏の歌で目覚め、新鮮な玉子をいただく生活にはとても憧れます。ギターは大学から始められ、その他にも古楽器など様々な楽器を演奏されるそうです。私は一度ギターの演奏をお聴きしたことがあります、とても楽しそうに演奏されていて音楽への熱意が伝わってきました。と、このような簡単なプロフィールからでも郭さんが非常に魅力の溢れる方であることが感じられます。今回はリュートという古楽器で演奏して下さるようで、非常に楽しみにしております。(上村)

アンケートのお願い



お手数ですが、今後の活動のためにこちらのアンケートにご協力ください。本日中に提出くださいますようお願いいたします。

編集後記

本日はご来場いただきありがとうございました。春学期の間、サークル存続のために書類作成など沢山の仕事をして下さった赤石さんには心より感謝申し上げると同時に、完全に任せっきりで仕事をしなかったことに対し自責の念に苛まれております。この反省から今回のパンフレット作成に至りました。一からパンフレットを作るのは今回が初めてであり、所々に不適切な箇所があったかと思えます。ですが無事完成させることができたのも、部員の皆様のご協力とこれまでパンフレットを作ってくださった先輩方のお陰です。この場をお借りして感謝申し上げます。(上村)

編集：上村春佳

校閲：赤石夏輝

表紙：森内祐治

Thank you for coming

